



# ハサン・メヘディさん Hasan Mehedi

(バングラデシュ人民共和国出身)

現在多摩区にお住まいのメヘディさんは、とてもにこやかに、しかし真剣にお話  
しする素敵な紳士でした。楽しく興味深いお話についつい時間を忘れてしま  
いました。



## 日本に来たきっかけは？

バングラデシュで大学院を出る前か  
ら、外国で働いてみたいと思っていま  
した。もともと車に興味があって、バングラデ  
シュで車といえば「トヨタ」。ほかの分野  
でも日本の技術は知名度が高く「メイド  
インジャパン」は間違いのないと言われて  
います。

私より先に来日していた高校時代の同  
級生から「日本は安全。日本人はやさし  
い」と聞いて日本に来ることを決めまし  
た。10年前に来日してすぐ、日本語学校  
で2年間勉強しました。その後、自動車  
の専門学校と日本の大学の経営学部で学  
び、今は車関係の仕事に就いています。

## 日本での生活はどうか。

日本に来てすばらしいと思ったのは  
「ウォシュレット」ですね。大好きです  
(笑)。生活する中で、私は日本に来てよ  
かったと思うことの方がずっと多いです。

ただ、一般的に外国人にとって日本で  
困ることは言葉と食事だと思います。

交通機関や役所、銀行や車検場でも  
日本語のみの対応というところが大多  
数で苦労します。「完璧な英語」ではな



く、みんなが片言の<sup>コミュニケーション</sup>“Communicative  
English”<sup>イングリッシュ</sup>(コミュニケーションが取れる  
英語)で意志の疎通ができれば、もっと  
日本が生活しやすい、観光しやすい国に  
なると思います。

また、私をはじめムスリム(イスラム  
教徒)にとっては、日本での食事大変  
です。バングラデシュでは、イスラム教  
の教えとして豚に由来するものは食べ  
ません。ですから、例えば、トンカツを揚げ  
た油で揚げたフライドポテトや、お菓子  
でもゼラチンなど豚肉由来の成分が入  
っているものも食べられません。成分表示  
が日本語のみの表記がほとんどなので、  
英語表記など少しでもあると助かる人は  
多いと思います。

材料がわからないと外食が難しいので、  
私は毎日お弁当を持参していますが、職  
場の同僚なども理解をして受け入れてく  
れていて、「飲み会」などに行く配慮し  
てくれます。

## バングラデシュ人留学生が 増えていますね。

バングラデシュ人にとって、来日して  
滞在するためのビザを取得することは容  
易ではないですが、<sup>ジャイカ</sup>JICA(独立行政法人  
国際協力機構)の奨学金があるので、最  
近は特に優秀な学生たちの間で日本留学  
への関心が高まっています。

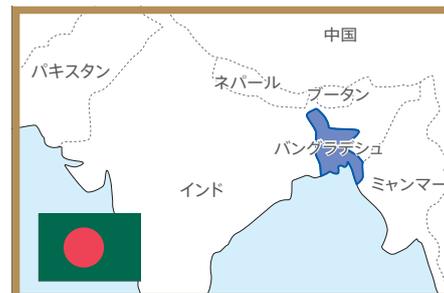
私は昨年、<sup>トウキョウ ビクランプール</sup>「Tokyo Bikrampur  
スチューデント クラブ  
Student Club」というグループを立ち  
上げ、バングラデシュからの留学生支援  
を始めました。現在は約40人のメンバ  
ーがいますが、役員1人はバングラデシュ  
で活動しています。バングラデシュから  
留学生が来ることが決まったら、SNSを  
使って連絡を取り合い、来日前から情報  
提供をします。空港に迎えに行ったり、

日本での手続きに同行したり、生活習慣  
を教えたりと、さまざまなサポートもし  
ますが、バーベキューなどの「オフ会」を  
することもあります。その時には必ず日  
本人も参加して、一緒に交流して学び合  
います。



困っている外国人留学生はたくさんい  
るので、ちょっとしたことで声をかけたり、  
助けてくれる日本人がいることは本当に  
ありがたいです。バングラデシュに限ら  
ず、たくさんの優秀な留学生が日本で学  
び、それぞれの知識や経験を生かして日  
本で就職ができるようになるように支援  
を続けていきたいと思っています。

ありがとうございました。メヘディさんは  
大切なメッセージを伝えてくださっている  
ので、私たちも考えてみてはどうでしょう。  
(取材・文：編集ボランティア 青柳 尚子)



### バングラデシュ人民共和国

1947年8月、イギリスから東パキスタンとして  
独立後、1971年12月にバングラデシュとして独  
立。公用語はベンガル語。  
人口は1億6,175万人。ベンガル人が大部分を占  
めるが、ミャンマーとの国境沿いの地帯には少数  
民族が居住。イスラム教徒88.4%、その他(ヒ  
ンズー教徒、仏教徒、キリスト教徒)11.6%。(外務  
省ホームページより)